

# 研究構想図

# 豊島区立巣鴨小学校

## 児童の実態

友達の話をしっかり聞くことができる。知った友達の考えや思いを受け止めて、相手の気持ちを考えながら、自分の思いや考えを表現できるようにしていく必要がある。  
少人数では自分の考えを素直に表現することができる。大きな集団の中で、自己の思いや考えを表現できるようにしていく必要がある。

## 研究主題

友達の思いや考えを受けとめるとともに、自分の思いや考えを伝えられる子供の育成  
～正しい知識を基に考え、伝え合う、認め合う活動を通して～

## 研究の仮説

正しい知識をもつとともに、認め合う場面、自分の考えをもつ場面、伝え合う場面を効果的に設定することで、児童の人権意識が高まり、確かな自分の考えをもち、表現できるであろう。

## 研究の内容

### 自分の人権を守り、他者の人権を守るための実践行動ができる

自分が考え、判断したことを実現する力

#### 人権に関する知的理解

- 現在の人権課題についての歴史や現状に関する正しい知識
- 人権課題の解決に必要な概念に関する知識

#### 各教科等の指導

- 人権教育の視点を明確にした指導
  - 相手意識、目的意識をもつことができる活動
  - 体験的な学習の充実による実感を伴った理解
  - 問題解決的な学習の充実
- 【課題把握】
- ・児童の意見を十分反映させた目標づくり
  - ・一人一人の理解度を大切に学習活動
  - ・学習のめあての提示
  - ・児童自らが学ぶ計画の選択
- 【個の学び】
- ・考える時間の十分な保障
  - ・気軽に質問できるような雰囲気づくり
  - ・温かい対応
- 【学び合い】
- ・一人一人の考えを認め、個に応じた指導
  - ・誰もが発言できる環境や雰囲気づくり
  - ・誤答等も受け止め、それを生かした学び合いの場の設定
- 【考えの再構築】
- ・考える時間の十分な保障
  - ・個に応じた評価及び児童の自己評価活動の推進

#### 人権感覚

##### 考えをもつ

- 課題に気付く力
- 課題をよりよく解決する判断力
- 相手の立場や気持ちを想像する力

##### 認め合う

- 自分のよさを知る力
- 人のよさに気付く力

##### 伝え合う

- 自分の考えや思いを分かりやすく伝え合うコミュニケーション力

#### 支持的風土の確立

- 自分が役立つという存在価値の確認
  - ・教師が良い点や進捗の状況を褒め、その価値を承認
- 教師と児童または児童相互が共感しあえる関係
  - ・「気持ちの良いあいさつ」「温かい言葉遣い」の指導
  - ・各学期に1回、いじめに関する授業
  - ・互いに認め合う場面の意図的、計画的な設定
- みんなのため、自分のために選択できる自由
  - ・相手と自分の両者を中心に据えた自己選択する力の育成
  - ・全校共通で基本的な生活習慣、規範意識の育成

#### カリキュラムマネジメント

- ・普遍的な視点と個別的な視点を関連付けた単元計画の作成
- ・各教科等と人権課題を関連付けた意図的、計画的指導

単元・単位時間あたりの学習過程の確立